

美鈴が丘高等学校の新学科「グローバル探究科」設置について（報告）

1 趣旨

本市では、令和2年6月に改定した広島市基本構想・第6次基本計画における「まちづくりの方向性」や令和3年3月に改定した広島市教育大綱における本市の目指す教育の方向性、令和3年1月の中央教育審議会の答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」を踏まえ、令和4年3月に「広島市ハイスクールビジョン」及び「ハイスクールビジョン推進プログラム」を一部改定した。

その中で、美鈴が丘高等学校においては、地域社会を担う生き方や働き方についての考え方を深めるキャリア教育を実践する新たな学科への改編について検討することとし、令和5年度より文部科学省委託事業「新時代に対応した高等学校改革推進事業（普通科改革支援事業）」の指定校として、新学科設置に向けたカリキュラム開発を、連携協力体制（コンソーシアム）の設置や、外部機関との連絡調整を行う職員（コーディネーター）の配置を行った上で進めている。

こうした検討を踏まえ、令和7年4月に美鈴が丘高等学校に、普通教育を主としつつ、地域社会に関する学校設定教科の新設等による「探究的な活動」を特色とする「グローバル探究科」を設置し、地域共生社会の担い手となる人材を育成する。

2 設置場所

広島市立美鈴が丘高等学校
 （広島市佐伯区美鈴が丘緑二丁目13番1号）

3 新学科設置の名称・規模

(1) 名称 グローバル探究科

グローバル探究：地域（ローカル）の魅力や課題の探究を軸としながら、地球的規模（グローバル）の視点で地域の魅力や課題を問い直すなど、地域（ローカル）の視点と地球的規模（グローバル）の視点を往還させた学びにより、資質・能力を育成する。

(2) 規模 1学科6学級（240名）

4 育成する資質・能力等（別紙1、2参照）

(1) 育成する資質・能力

<学校教育目標>

校訓「進取 友愛 節度」のもと、高い志を持ち、変化の激しい社会において自らの未来を切り拓き、「地域共生社会」の担い手となる人材を育成する。

<育成する資質・能力>

国際平和文化都市「広島」をフィールドとした学びにより、地域社会の発展に貢献し続ける力を育成する。

- 地域や社会の課題を見出す力（情報収集力・情報分析力・発信力）
- 正解のない課題に向き合い続ける力（自分力・行動力・思考力）
- 協同して課題を解決する力（調整力・実践力・連携力）

(2) 新たに実施するカリキュラム

普通教育を主とし、広島市が有する魅力や課題に着目した「探究的な活動」を特色（学びの柱）とした以下のカリキュラムを一体的に実施する。

しなやかな教育課程

普通科として求められる学力を必須教科・科目で保証しつつ、生徒のキャリア形成に応じた選択教科・科目を複数配置し、第3学年からは「総合的な探究の時間」を年間5単位で実施する「グローバル探究型」と年間1単位で実施する「文理探究型」を選択できる教育課程を編成する。

さらに、生徒の「探究的な活動」を一層深めるため、教員がチームで生徒と関わる複数担任制によるきめ細かな伴走・支援、修学旅行の内容・行先の充実、ノーチャイム制による自己調整能力の育成、前後期制の導入による半期ごとの教育課程の編成等について検討する。

新たな学校設定教科「未来計画」の新設

学びの柱である探究学習を進める上で必要な、思考法や心構え等の知識や技能を学び、資質・能力の育成を効果的に図ることができる授業を、第1学年に2時間連続（2単位）で設定する。

学年・学級・グループの枠組みを超えた探究学習

第1学年の「未来計画」と第2学年、第3学年の「総合的な探究の時間」を2時間連続同時間帯で設定し、探究学習のプロジェクトに応じて学年・学級・グループの枠組みを超えたグループワークやワークショップ、フィールドワーク等を実施することで、多様な見方や考えを持った生徒同士が相互に対流を生み出し、地域課題の発見・解決や新たな価値の創造を促す仕組みを構築する。

〔3年間の探究学習のイメージ〕

学 年	名称 (単位数)	内 容
第1学年	未来計画 (2単位)	探究学習の思考法、心構え等の知識や技能を学ぶ。 ・合意形成法 ・レジリエンス ・平和探究プロジェクト ・地域魅力発信プロジェクト ・好き探究プロジェクト
第2学年	総合的な探究の時間 (2単位)	自分のキャリア形成に応じた探究学習を積み重ねる。 ・地域課題発見プロジェクト ・進路探究プロジェクト
第3学年	総合的な探究の時間 (1又は5単位)	3年間の探究学習を総括し自ら未来を切り拓く力を獲得する。 ・地域課題解決プロジェクト ・マイヒストリープロジェクト

○ 社会と繋がる「問い」を重視した授業の展開

生徒の実生活の中の「問い」を「社会と繋がる課題」に繋げ、生徒の個人思考とグループ等による協同学習を組み合わせ、資質・能力を育成する探究的な授業を実施する。

○ 生徒達が集い自ら学び始める魅力ある空間の創造

生徒同士のグループワークやプロジェクト型学習、多様な規模のワークショップや成果発表会等の「探究的な活動」を柔軟に展開することができる学習環境を、教室のリニューアル等により整備することを検討する。

【広島市立美鈴が丘高等学校】グローバル探究科を設置（令和7年4月）

学校教育目標

校訓「進取 友愛 節度」のもと、高い志を持ち、変化の激しい社会において、自らの未来を切り拓き、「地域共生社会」の担い手となる人材を育成する。

広島市が有する魅力や課題に着目し、地域と世界の視点を往還させながら、実践的な学びに取り組み、生徒と地域の未来を切り拓く。



「未来へともにつながる」学びの創造
新時代に対応した「進取 友愛 節度」へ



グローバル探究科で育成を目指す資質・能力

国際平和文化都市「広島」をフィールドとした学びにより地域社会の発展に貢献し続ける力を育成する

- 地域や社会の課題を見出す力（情報収集力・情報分析力・発信力）
- 正解のない課題に向き合い続ける力（自省力・思考力・行動力）
- 協同して課題を解決する力（調整力・連携力・実践力）

総合的な探究の時間で地域社会とつながる

探究に特化した日を週1日つくり、学年・学校の枠を超えたフィールドワーク等を通して、価値創造型・課題解決型探究に取り組む。また、地域や外部の資源（企業・大学・行政等）を積極的に活かし、学びの場を社会と接続する。

探究的な学びを重視した授業へのアップデート

「育成を目指す資質・能力」に基づく目標と評価規準を設定し、生徒の「問い」から始まり、「社会につながる課題」を個人思考と協同学習で学ぶ授業へとアップデートする。

外部との連携調整を行う
コーディネーター

地域・企業・大学・行政

新たな学校設定教科・科目「未来計画」

新たな学校設定教科・科目「未来計画」では、学びの柱である探究の「学び方を学ぶ」プログラムを実施し、探究の基礎を身につける。

【改編検討組織】 × 【連携協力体制】
【未来会議】 × 【コンソーシアム】

特色・魅力ある先進的な学校運営

チームで生徒と関わる複数担任制、生徒の自己調整力を育てるノーチャイム制、生徒の探究的な学びを深める修学旅行等

美鈴が丘高等学校グローバル探究科 普通科改革全体計画 (令和7年4月設置)

学校教育目標
 校訓「進取 友愛 節度」のもと、高い志を持ち、
 変化の激しい社会において、自らの未来を切り拓き、
 「地域共生社会」の担い手となる人材を育成する。

新しい学科で育成する資質・能力

国際平和文化都市「広島」をフィールドとした学びにより地域社会の発展に貢献し続ける力を育成

地域や社会の課題を見出す力 正解のない課題に向き合い続ける力 協同して課題を解決する力

<教育課程 (カリキュラム)>

〔しなやかな教育課程〕
 普通科として求められる学力を必須教科・科目で保証しつつ、生徒のキャリア形成に応じた
 選択教科・科目を複数配置し、第3学年からは「総合的な探究の時間」を年間5単位で実施
 する「グローバル探究型」と年間1単位で実施する「文理探究型」を選択することができる。

〔枠組みを超えた探究学習〕
 「未来計画」と「総合的な探究の時間」を2時間連続同時
 間帯で設定し、学年を超えて
 縦割りでフィールドワークや
 課題解決学習を実施する。

第3学年	必修教科・科目 論理国語、古典探究、体育 生物基礎演習、論理・表現Ⅲ 英語コミュニケーションⅢ	選択教科・科目 日本史探究、世界史探究、地理探究 政治・経済、倫理、数学探究、芸術探究 化学、科学基礎探究、文学国語	総合的な探究の時間 (前期のみ1単位) + グローバル探究 (通年4単位) = 合計5単位
文理探究型 (人文社会探究系) (自然科学探究系)	必修教科・科目 論理国語、古典探究 体育、論理・表現Ⅲ 英語コミュニケーションⅢ	選択教科・科目 地理探究、政治・経済、日本史探究、世界史探究、倫理 数学Ⅲ、数学探究、文学国語、数学B、数学C、物理、生物 化学基礎演習、生物基礎演習、地学基礎演習	総合的な探究の時間 (前期のみ1単位)
第2学年	必修教科・科目 論理国語、古典探究、地理総合、公共 数学Ⅱ、数学B、数学C、生物基礎、体育、保健、英 語コミュニケーションⅡ、論理・表現Ⅱ	選択教科・科目 日本史探究、世界史探究、化学 物理基礎、地学基礎、家庭基礎演習 音楽Ⅱ、美術Ⅱ、書道Ⅱ	総合的な探究の時間 (通年2単位)
第1学年	必修教科・科目 現代の国語、言語文化、歴史総合、数学Ⅰ数学A、数学Ⅱ 化学基礎、体育、保健、英語コミュニケーションⅠ 論理・表現Ⅰ、家庭基礎、情報Ⅰ	選択教科・科目 音楽Ⅰ 美術Ⅰ 書道Ⅰ	未来計画 (通年2単位)

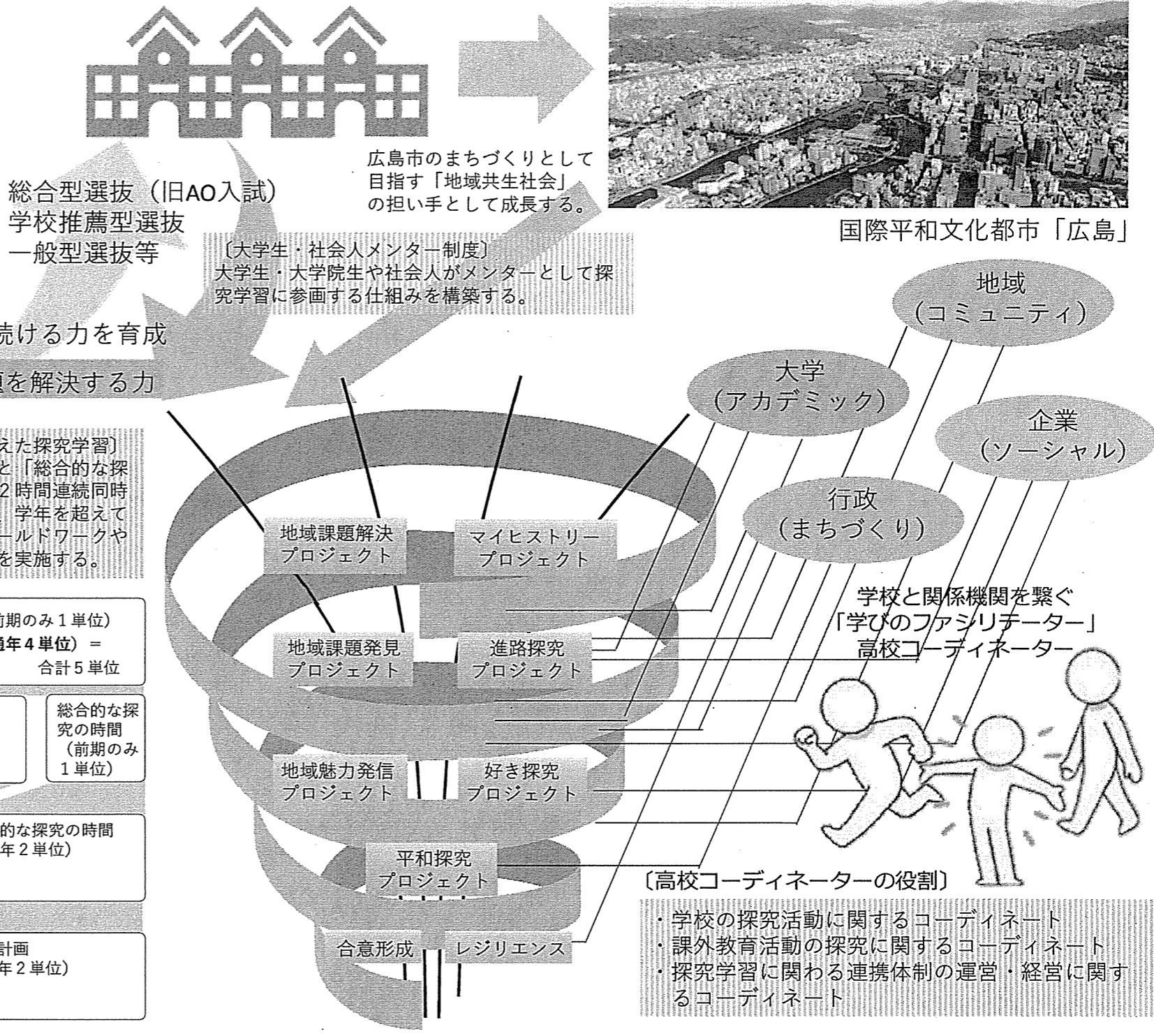
- 〔広島市高校生短期留学プログラム等の活用〕
 広島市や広島市教育委員会が実施している国際交流
 事業や留学プログラム等への参加を推奨する。
- 〔海外提携校とのオンライン交流〕
 交流実績のあるフィリピンや姉妹都市の高校等との
 オンラインでの交流を実施する。
- 〔グローバルな有識者による指導〕
 全世界的な視点で地域で活躍する人材や、地域と世
 界を繋ぐ人材によるワークショップ等を実施する。

- 〔前後期制の導入〕
 3学期制から前後期制に変更することで、授業時数を
 確保しつつ、半期ごとの教育課程の編成を可能とする。
- 〔社会と繋がる「問い」を重視した授業〕
 生徒の「問い」を「社会と繋がる課題」に繋げ、生徒の個人思考とグループ等
 による協同学習を組み合わせ、資質・能力を育成する探究的な授業を実施する。

<学校運営 (複数担任制、ノーチャイム制、修学旅行)>

- ・チームで生徒と関わる複数担任制の導入を検討し、きめ細かい生徒への伴走・支援を充実させる。
- ・ノーチャイム制の導入等を検討し、生徒が自己調整能力を高めることができる環境を整える。
- ・修学旅行の行先や内容等を検討し、生徒の探究的な学びをより深めることができるよう充実させる。

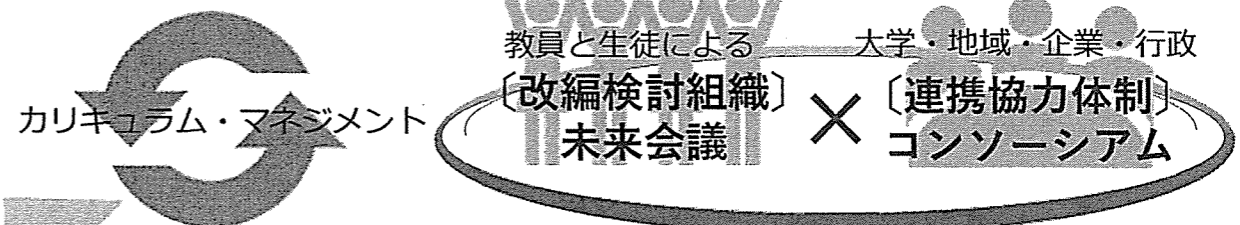
大学等進路先 高校卒業10年後



国際平和文化都市「広島」



- 〔高校コーディネーターの役割〕
- ・学校の探究活動に関するコーディネーター
 - ・課外教育活動の探究に関するコーディネーター
 - ・探究学習に関わる連携体制の運営・経営に関するコーディネーター



- ### <高校入試や広報戦略>
- グローバル探究科に入学を目指す生徒の入学受入方針を新たに検討する。
 - 入学受入方針を踏まえて、入学受入の特色等の実施内容を設定する。
 - 新学科の広報戦略として、中学生や保護者への周知を工夫し、大学、地域、企業、行政といったコンソーシアムの力も活用した説明会の実施を検討する。